

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第1回加東市教育振興基本計画策定委員会
開催日時	令和7年6月20日(金) 13時30分から14時53分まで
開催場所	市役所2階 健康教育室1
議長の氏名 (委員長 田中寿一) 出席及び欠席委員の氏名 (出席委員) 別惣淳二委員、田中寿一委員、後藤純子委員、神田英昭委員、稲継健太郎委員、 安原一樹委員、石井博昭委員、山羽勲委員、竹内貞美委員、藤川憲二委員、 高橋憲司委員、竹内守男委員 (欠席委員) なし	
説明のため出席した者の職氏名 なし	
出席した事務局職員の職名 教育長 藤原路寛 <教育委員会事務局> 教育振興部長 鈴木敏久、こども未来部長 近澤孝則、参事兼学校教育課長 井上裕子、 参事兼発達サポートセンター所長 藤原良二、教育総務課長 西山英希、 学校給食センター所長 芹生祥子、生涯学習課長 松本裕介、 中央図書館長 藤田智架子、小中一貫教育推進室長 高田篤、 青少年センター所長 花田和典、こども教育課長 長谷川貴子、 学校教育課副課長兼部活動改革推進室長 郡龍仁 <策定委員会事務局> 教育総務課副課長 堅田美佳、教育総務課主査 鷹尾実和	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 【議題、会議結果】 (1) 委員長、副委員長の選出 委員長に田中寿一委員、副委員長に石井博昭委員を選出した。 (2) 加東市教育振興基本計画の策定について 事務局から資料3に基づき説明。質疑等はなし。 (3) 加東市の教育の現状について 事務局から資料4～6に基づき説明し、委員から質疑あり。 (4) 第3期加東市教育振興基本計画の成果と課題について 事務局から資料7に基づき説明し、委員から質疑あり。 (5) 全般的な意見交換	

【会議の経過】

別紙、「令和7年度第1回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過」のとおり

【資料】

- 資料1 加東市教育振興基本計画策定委員会設置要綱
- 資料2 教育基本法
- 資料3 第4期「加東市教育振興基本計画」の策定について
- 資料4 加東市における教育を取り巻く状況
- 資料5 「加東市総合計画に関するアンケート」について
- 資料6 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果
- 資料7 第3期加東市教育振興基本計画の成果と課題（点検と評価より）

令和7年 8 月 8 日

委員長 田中寿一

署名人 別惣淳二

署名人 竹内守男

【別紙】令和7年度第1回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 事務局職員紹介

5 設置要綱等の説明

6 委員長・副委員長の選出

(事務局)

それでは、役員の選出に移らせていただきます。

加東市教育振興基本計画策定委員会設置要綱第5条第1項において、「委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める」となっております。

委員長、副委員長の選出について、ご意見はございますか。

－意見なし－

(事務局)

ご意見ないようでしたら、事務局案をご提案させていただきたいと思います。

－異議なし－

(事務局)

それでは事務局案として、委員長に加東市教育委員会の田中寿一様、副委員長に加東市スポーツ協会の石井博昭様にお願いしたいと思います。

－異議なし－

(事務局)

異議なしとのお声がありましたので、田中委員に委員長、石井委員に副委員長をお願いしたいと思います。

－異議なし－

7 委員長・副委員長あいさつ

8 議題

(事務局)

それでは、ここからは設置要綱第6条第2項に基づき、委員長に議長として会議の進行をお願いします。

(1) 加東市教育振興基本計画の策定について

(委員長)

まず、議題1、加東市教育振興基本計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

○資料3に基づき説明

(委員長)

ただいまの説明について、何かご質問はございませんか。ご質問、ご不明な点がございましたら、今なければ次回でも良いのでご質問やご意見をいただけたらと思います。

ー質問なしー

(2) 加東市の教育の現状について

(委員長)

では引き続いて、議題2、加東市の教育の現状について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

○資料4から資料6に基づき説明

(委員長)

説明について、何かご質問はございませんか。担当部局も来ているので、もう少し詳しく説明を聞きたい等があればお願いします。

(委員)

加東市の状況のデータを踏まえて、加東市がどう考えているのか読み切れないところがあります。この結果を踏まえて加東市が何を課題と考え、第4期教育振興基本計画で何をするのかを次回挙げてもらいたいと思いますのでお願いします。

資料4の5ページに英検の状況がありますが、漢検や算検・数検の状況もあれば載せてほしいです。せっかく取り組んでいることを、もっとPRしてはどうかと思います。

(委員長)

今のご意見については、次回の課題として提案いただくということでよろしいですか。

(事務局)

今回の資料には、人口、利用状況等を記載しています。教育振興基本計画では点検と評価、その結果を公表していますが、あくまでその一部で、他にもいろいろなデータが実際にはあります。他のデータの結果等も踏まえ、それを次の計画にどう活かすか検討しながら策定を進めていきたいと思います。

(委員長)

教育のまち加東を謳っている限り、市民、また市外に向けてもアピールするところはアピールし、課題と施策を明確にしたほうが良いと考えます。

他にございませんか。

(委員)

加東市の総合計画に関するアンケートについて、質問です。説明を聞き洩らしているかもしれませんが、これは誰に対してアンケートをとった結果ですか。また、令和7年の結果がまだ出ていないとのことですが、いつ出るのでしょうか。

(事務局)

アンケートは、加東市在住の18歳以上の方4,000人を無作為抽出したのになります。また、令和7年度はこれからアンケート調査を行います。遅くとも年明けには結果をお示しできる状況と担当課から聞いています。

(委員長)

ということは、令和7年度はこの策定委員会では間に合わないのですか。

(事務局)

補足します。企画政策課で令和7年度の総合計画に関するアンケートを実施し、教育の部分についても同時に行います。先ほどお伝えした年明けというのは、総合計画全体のアンケート結果の集計になります。次期計画は、令和7年度のアンケート結果も踏まえた5か年計画になりますので、教育の部分は計画策定に間に合うように別途集計等をしたいと考えています。

(委員長)

2回目、3回目の期日がほぼ決まっているので、それに間に合うようにしないと、せっかくのアンケートが役に立たないことになります。よろしくお願いします。

他にご意見・ご質問がなければ、議題3に移ります。

(3) 第3期加東市教育振興基本計画の成果と課題

(事務局)

○資料7に基づき説明

(委員長)

たくさんの成果と課題があります。もう少し詳しく説明を求める箇所等があれば、願

いします。生涯学習の内容について、人生100年時代で高齢者が多くなっており、その点も大切にしないといけない一面だと思います。ご意見がありましたら、よろしくお願いします。

(委員)

大きく2点あります。1点目は、東条学園のところで、今後小中一貫教育をしていくうえで、東条学園ができた当初に掲げた理念を今改めて見てどうだったのか。それを踏まえて課題があればどう反映していくのか。加東市は小中一貫教育が特徴であると明言している以上は、メリットを整理して反映させてほしいと思います。

2点目は、兵庫教育大学との関係で基本的には兵庫教育大学の先生を講師に招いていると思います。例えば加東市の教育委員会から兵庫教育大学へ先生を派遣していないのか、そもそもする気がないのか。兵庫教育大学へ派遣して学んだ先生が戻ってきてリーダーになるという考え方もあると思います。もし今そのような形がなければ、要望したいと思います。

(委員長)

まず、小中一貫教育について、東条学園が開校して4年が経とうとしています。そろそろ成果と課題が一区切りできる年数になったかと思います。そのあたりを、いかに滝野学園に引き継いでいくか、ということだと思います。それについて、今後の予定も含めて事務局から回答願います。

(事務局)

まず、東条学園は義務教育学校、社学園と滝野学園も校舎併設型の小中一貫校、また、児童・生徒数によって違ってきますが、小中一貫教育を目指すことは加東市の教育理念であり、全て同じ方向にいくべきと考えています。上級生が下級生を思いやる、下級生が上級生に憧れを持つ、といった成果が東条学園では実際にあがっています。開校前はいろいろ大変でしたが、開校後は保護者アンケートでも1年生から9年生まで一貫した教育が見受けられると良い評価を得ています。ぜひその成果と課題を、社学園・滝野学園にも繋げていきたいと考えています。

(委員)

そのような成果があるなら、ぜひもっとPRしてほしいです。そこまで自信を持って成果を感じられるのであれば、ホームページに出すくらいの勢いがほしい。今回この計画があるので、その中にも盛り込んでください。当初は市民も小中一貫校になることへの心配等もあると思うので、PRすることでハードルが下がると思います。

(事務局)

確かに、PRは大事だと思います。社・滝野地域の人から、東条学園がどうなっているのかわからないと聞きます。東条学園とは人数が全然違うので全てが上手くいくとは限りませんが、良い点は引き継いでいきたいと思います。

(委員長)

第4期教育振興基本計画の途中で滝野学園が完成します。加東市は、全ての小中一貫教育の形ができあがると考えています。兵庫県内でも市全体で小中一貫教育が全て賄えているのは、加東市が唯一だと思います。市内だけでなく、市外に向けてもアピールすること

が、加東市の教育の魅力を高める一つの方法だと思います。

2 点目の兵庫教育大学に派遣する件について、事務局よりお願いします。

(事務局)

兵庫教育大学とは連携させていただき、大変お世話になっています。研修会に講師の先生として来ていただくことも多いです。県教員を大学へ派遣する制度があり、加東市からも昨年度から勉強しに行っている教員もいます。それから、加東市のふるさと納税を活かして、教員免許を取得する制度も大学と実施しています。人数に限りがありますが、希望者にはそのようなことも行っています。学生にも学習支援のボランティアとして来てもらうこともあります。

(委員)

私の伝え方が悪かったです。例えば、大学院に教員として行くというのが一つありましたが、そもそも附属小中学校に先生として派遣する制度はないのですか。加東市以外の教育委員会から派遣されたと書いてあるのを見たことがあります。加東市からは派遣しないのでしょうか。

(事務局)

それは、県の教員として大学に派遣されてということでしょうか。

(委員)

附属小学校の先生として教える、そのような交流はあるのですか。

(事務局)

附属小学校・中学校としての教員の交流ですか。

(委員)

そうです。

(事務局)

それももちろんできますし、過去には加東市の教員が附属小中学校に行ったこともありますが、最近その交流はない状況です。

(委員)

近場の資源を活用するべきだと思います。せっかく教育のまちと謳っていて、兵庫教育大学もあるので、それを使うのも良いと思います。

(事務局)

教員からの希望があれば県を通じて派遣できるので、希望をみながら考えさせていただきます。

(委員長)

事務局にも教員をしながら大学で学んでまた帰ってきた人が一人控えていますので、もし何かあればお願いします。

(事務局)

現職で大学院にて学び、修士号をいただきました。現場で十数年教鞭をとった後に、また研究の場に行くことは、非常に貴重な良い時間でした。学部からストレートで大学院に行く方もいますが、私の場合は現場から行ったので、より現場の教育実践を思い描きながら研究できて、その後の自分の教育活動に活かせたと思います。附属小学校との交流については、先ほど申し上げたように希望があればということになります。

(4) 全般的な意見交換

(委員長)

今回の策定委員会では、第4期加東市教育振興基本計画の骨子について、また、基本理念について提案をいただき、検討していくことになると思います。

他に何かご意見はございませんか。

－意見なし－

(委員長)

それでは、これをもって議事を終了します。ここで進行を事務局にお返しします。

9 その他

(事務局)

閉会にあたり、石井副委員長より閉会のあいさつをお願いします。

(副委員長)

○閉会あいさつ

(事務局)

次回は、8月初旬頃の開催を予定しています。また改めて日程調整をさせていただきます。

10 閉会